

事務事業評価表

○基礎情報

課名		指令情報課		作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			総従事者		時間外勤務時間	
施策目標	39	災害情報を統括・管理し、あらゆる活動を支援する		武田 芳亮		管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	総時間	一人あたり月平均
						3 人	17 人	0 人	0 人	0 人	20 人	1,682 時間		8.2 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
消防緊急通信指令システムの安定運用	100%	100%	100%	100%	100%
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	的確・迅速な出動指令
2	救命の連鎖の構築
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)														Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止			
1	消防ポンプ自動車等整備事業(消防緊急通信指令システム等整備)	1	0.51	一般	3,576,000 ----- 2,453,000	6,081,000 ----- 3,971,000	指揮車及び救急自動車の更新に伴い、無線機及び車両運用端末装置の転載を行った。消防緊急通信指令システムを良好な状態で運用できるよう維持管理し、出動部隊に的確かつ迅速な出動指令を行うとともに、消防緊急通信指令システムの安定的な運用をすることができた。	事業の進捗状況	100%	100%	S	変動なし					
合計					R2予算(円) ----- R2決算(円)	6,081,000 ----- 3,971,000											

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>指令情報課の令和2年度の事務事業数は6事業あり、うち政策的事業は1事業である。政策的事業の評価結果は、「S」消防ポンプ自動車等整備事業(消防緊急通信指令システム等整備)1事業であり、成果を出すことができた。</p> <p>事業の成果にあつては、「指令システムに係る知識や技術向上のための研修」や「救急要請時の口頭指導に関する知識や能力の向上」などの人材育成を行うとともに、車両更新(指揮車及び救急自動車)に伴う無線機及び車両運用端末装置の転載などを適切に行い、消防緊急通信指令システムを良好な状態で維持することにより、24時間365日の安定運用を実現している。</p> <p>また、2021年に予定されている東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、外国人からの119番通報等に対応した多言語通訳サービスや聴覚障がい者等に対する緊急通報システム(NET119)を導入しており、市民等に対し広報紙やホームページ等で広報活動を行い周知を図っている。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間1,682時間、1人当たり月平均8.2時間であり、前年度と比較して総時間は314時間減少、1人当たりの月平均は1.6時間減少することができた。</p> <p>時間外勤務は災害件数により変動するもので、削減等は難しいが、引き続き効率的な業務遂行に努める。</p> <p>指令情報課の事業は、119番通報の受付や消防部隊等への出動指令が主なものとなっており、達成度や実施効果を数値で示すことは難しいが、各職員が救急現場や災害現場から助けを求める市民との窓口となっていることを再認識することが重要となる。</p> <p>今後の展望として、多種多様化する119番通報に対して、的確かつ迅速な出動指令が求められており、人事異動後の新任通信指令員の教育体制の充実や、コロナ禍においても安定した勤務体制を継続できるよう警備課職員への研修を行うとともに、通信指令員の更なる知識及び技術の向上と市民サービスの充実を図る。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	-	指令情報課の事業は、消防緊急通信指令システムを24時間365日良好な状態で適切に維持管理し、多種多様化する119番通報に対して、各部隊に的確かつ迅速な出動指令を行う事業であることから、休・廃止の検討は困難である。